

## 第 398 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 6 年 2 月 6 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] 鈴木愛実の、やるやん！  
[放送日時] 令和 6 年 1 月 23 日(水) 20:30～21:00  
令和 6 年 1 月 30 日(水) 20:30～21:00  
[出演者] 鈴木愛実
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康  
委員 加藤裕治 委員 小野晃司  
委員 土屋維子  
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩  
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充  
編成制作部担当部長 寺田和史
5. 事務局報告 ○ K-MIX の今年度の見通しと現状を報告
6. 番組審議  
[番組名] 鈴木愛実の、やるやん！  
[放送日時] 令和 6 年 1 月 23 日(水) 20:30～21:00  
令和 6 年 1 月 30 日(水) 20:30～21:00  
[出演者] 鈴木愛実  
[番組内容] 「やるときゃやんでえ」略して「やるやん」！  
パーソナリティ 4 年目となる鈴木愛実が、  
様々なことにチャレンジ。  
ランダムで曲を放送したり、  
くじを引いて最新映画を観に行ったり、  
新商品の食リポにチャレンジしたり…  
“やるやん精神”をモットーに体当たりで  
挑戦。聴取者に「鈴木愛実、やるやん！」と  
思ってもらえるような番組を目指しています！

## [聴取・合評での主な意見]

土屋委員

30分でちょうど良いと感じる番組の長さだった。  
鈴木愛実さんのファンが聴いて「また来週聴きたいな。」というちょうど良い感覚を与えてくれている。番組内でも挑戦する意気込みが良く出ており、鈴木愛実本人のキャラクターとも合っていて、番組として良い方向に進んでいると思われる。今あるコーナーにとらわれず、自分の実行したい事柄を突き詰める30分というものがあっても、ファンにも、鈴木愛実にも良い時期なのかもしれない。

小野委員

鈴木愛実さんが、日頃、物事をどのように考えているのかを知るには、絶好の場所であると考えます。鈴木愛実さん本人は、スローで、おっとりしていて、丸みのあるキャラクターだが、そのキャラクターで、番組で何に挑戦させるのか。ファンとのふれあいを目的に、ファンの投げかけに応じますという意味合いでは挑戦しているように感じるが、番組開始から既に時間も経っており、慣れている感じも伝わってくるので、新味を出さないと、放送時間が長く感じられてしまうので、鈴木愛実らしさにマッチする内容に仕上げて行くと良いのではないだろうか。

加藤委員

鈴木愛実さんのデビュー当時に感じた『ラジオ向き』のイメージは相変わらずである。番組としても、ファンに向けては、内容も安定しており、鈴木愛実さんの良さも出ている。  
しかし、番組開始から一定の年月を経て、これからどうして行くのか。得意は活かしつつ、苦手をどうして行くのか。鈴木愛実さんのここからの成長をどう図って行くのかが注目される。そろそろ、番組の方は、次のステップへ向かう時期ではないだろうか。

角田副委員長

鈴木愛実さんの良さを再認識するきっかけとなった。本人の著しい成長を感じるとともに、ラジオ向きの要素を強く感じる。声質の良さと、良い意味で聞き流すことができるトーク、4年間で鈴木愛実さんは安定感が増していると思う。何より、のびのびとしたトークは素晴らしい。番組は、現時点で、発信型の放送となっているが、そろそろ受止め型に変えても良い時期かもしれない。話題の深み、紹介する映画の受け止め方の自分と聴取者の違いに主眼を置いてみることも良い時期と思われる。

木宮委員長

番組開始当初は、映画の解説を始め、自分に出来なかったものに挑戦していた新人の鈴木愛実さんも、入社から4年で、最近では、当時の苦手要素に、上手く対応できるようになった。挑戦～成長で、柔軟に対応することが、出来るようになった現在、「挑戦」は、今の番組内のコーナーでは、なくなっていると思われる。鈴木愛実さんのさらなる成長のためにも、中身のリニューアルも含めて、番組の検討をする時期が来ているのではないだろうか。

会社サイド

鈴木愛実本人は、番組に対して、全く、手詰まり感もなく、活き活きと向き合っております。また、別の生ワイド番組では、扇の要のような重要な役割を担える成長も見せていたり、企画力、瞬発力も様々な番組で、発揮しております。

今後、さらなる高みを目指して成長して行って欲しいという期待を込めながら、大切に、助言やサポートをしながら、育んで行きたいと思います。

以上

次回開催日 令和6年3月5日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長  
木宮敬信